

第6期障害福祉計画における成果目標の評価等について

○計画期間における数値的な結果は、下記のとおりとなっており、目標等管理シートを活用する中で、PDCAサイクルを実施する。

1 施設入所者の地域生活への移行

(1) 令和元年度末の施設入所者のうち、地域生活への移行者数

項 目	基準値	区分	第6期			比較
			R 3	R 4	R 5	
地域生活移行者数	72人	目標値	—	—	4人	—
		実績値	0人	—	—	▲ 4人

(2) 施設入所者の削減数

項 目	基準値	区分	第6期			比較
			R 3	R 4	R 5	
施設入所者の削減見込者数	72人	目標値	—	—	0人	—
		入所者数	74人	—	—	—
		比 較	2人			2人

2 精神障害者が地域で安心して暮らせる支援体制（地域包括ケアシステム）の構築

目標値	取 組 内 容
数値目標なし	保健、医療、福祉関係者による協議の場として、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議をコロナ感染拡大により2回中止となったが、Web会議等を活用して開催し、関係機関の情報共有や連携を図った。

3 地域生活支援拠点等の整備

目標値	取 組 内 容
優先度の高い機能から段階的に整備を進める。	障害者地域支援協議会において、昭島市における地域生活支援拠点等の面的整備に向けて集約された課題を踏まえて、大神町4丁目の市有地を活用して地域生活支援拠点等の面的整備における1つの機能として整備することについて理解を頂いたため、今後、関係機関と整備について検討を図る。また、基幹相談支援センターの設置について検討を進めた。

4 福祉施設から一般就労への移行等

(1) 就労移行支援事業所等を通じて、令和5年度中に一般就労に移行する者の数

項 目	基準値	区分	第6期			比較
			R 3	R 4	R 5	
年間一般就労移行者数	5人	目標値	—	—	8人	—
		実績値	8人			0人
移行支援事業による年間一般就労移行者数	5人	目標値	—	—	7人	—
		実績値	8人			1人
就労継続支援B型事業による年間一般就労移行者数	0人	目標値	—	—	1人	—
		実績値	0人			▲ 1人

(2) 就労定着支援事業の利用者数

項 目	基準値	区分	第6期			比較
			R 3	R 4	R 5	
就労移行支援事業により一般就労に移行する者のうち就労定着支援事業を利用者数	70%	目標値	—	—	70%	—
		移行者数	8人			—
		利用人数	3人			—
		実績値	38%			▲ 32%

5 相談支援体制の充実・強化等

目標値	取 組 内 容
検討	地域支援協議会相談支援部会及び市内3か所の委託している相談事業所との連携を強化し、事例検討や地域課題を抽出し解決に向けた具体策の検討を行った。地域生活支援拠点等整備の一環として、基幹相談支援センターの設置について協議し、引き続き具体的な検討を進める。

6 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

目標値	取 組 内 容
実施体制の構築	東京都及び心身障害者福祉センターの実施するケースワーカーの専門研修や保健師の専門研修に参加し、知識の修得を図った。市内の放課後等デイサービス事業所に対して国民健康保険連合会からの審査結果等の情報共有を図った。

第 2 期障害児福祉計画における成果目標の評価等について

○計画期間における数値的な結果は、下記のとおりとなっており、目標等管理シートを活用する中で、PDCAサイクルを実施する。

1 障害児支援の提供体制の整備等

(1) 児童発達支援センターの設置及び保育所等訪問支援の体制整備

目標値	取 組 内 容
設置	昭島市児童発達支援センター「子ども発達プラザ ホエール」を開設し、保育所等訪問支援事業所についても1か所開設している。

(2) 重症心身障害児の支援体制の整備

目標値	取 組 内 容
1 か所以上の設置	重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所について各1か所開設している。重症心身障害児の新たな事業所の確保について引き続き検討していく。

(3) 医療的ケア児支援のための関係機関等の協議の場の設置

目標値	取 組 内 容
設置に向けた検討	医療的ケア児支援の関係機関等との協議の場の設置については、今後設置に向けて具体的な検討を庁内にて進めていく。また、医療的ケア児コーディネーターの配置についても検討を図る。

第6期障害福祉計画 目標等管理シート

資料3-3

成果目標		1 施設入所者の地域生活への移行				
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	【令和5年度末までの目標】				
		①地域移行生活者の増加				
		区 分	目標値	目標値設定の考え方		
		地域生活移行者数	4人 (5.6%)	令和元年度末時点の施設入所者数(72人)のうち、4人がグループホーム等へ移行することを基本とする。		
		②施設入所者の削減数				
		区 分	目標値	目標値設定の考え方		
		削減見込者数	72人を 超えない	令和元年度末時点の施設入所者数(72人)を超えないことを基本とする。		
		【実績値】				
		区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		①地域生活移行者数	0人			
②施設入所者数	74人					
	主な 活動指標 (内 容)	【活動指標等の一覧】				
		区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		就労移行支援の利用者数	見込量	27人	28人	29人
			実績値	30人		
		共同生活援助(グループホーム)の利用者数	見込量	120人	130人	140人
			実績値	141人		
		地域移行支援・地域定着支援の利用者数	見込量	2人	2人	2人
			実績値	2人		
		施設入所支援の利用者数 ※施設入所者数の削減	見込量	72人	72人	72人
			実績値	74人		
区 分	評価 (C)	協議会等意見	改善 (A)			
	【目標等を踏まえた評価や改善方法】	【評価等に対する意見】	【次年度における取組等】			
令和3年度	死亡等による退所者が2名あったが、入所希望者4名が入所できたことから、施設入所者数が目標値を上回った。引き続き地域相談事業所と連携を図る中で、地域移行支援への取組を進めたい。	遠隔地の入所者の状況把握をどのように実施しているのか。状況把握の際、地域生活移行の意思を確認してほしい。目標が達成できていないのであれば、その経過を説明してほしい。 関係機関との連携が必須だが、地域資源の充実も必要となる。	施設の訪問時等に施設入所者本人や関係者から聴き取りを行う中で、本人や家族の意向を十分尊重し、入所者の状況を把握しながら地域移行への取組に努める。 地域生活支援拠点の整備により、地域資源の充実を進めていく。			
令和4年度						
令和5年度						

第 6 期障害福祉計画 目標等管理シート

成果目標		2 精神障害者が地域で安心して暮らせる支援体制（地域包括ケアシステム）の構築					
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	【令和5年度末までの目標】					
		目標値		目標値設定の考え方			
		数値目標なし		保健・医療・福祉関係の協議の場での協議を重ね、退院後の地域生活を継続して支える相談・見守り体制の整備を図る。			
	主な活動指標 (内 容)	【活動指標等の一覧】					
		区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数		見込量	12回	12回	12回
				実績値	10回		
		協議の場への参加者数	保健	見込量	36人	36人	36人
				実績値	11人		
			医療：精神科	見込量	6人	6人	6人
実績値				9人			
		福祉	見込量	102人	102人	102人	
			実績値	107人			
保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標設定及び評価の実施回数		見込量	1回	1回	1回		
		実績値	1回				
区 分	評価（C）		協議会等意見		改善（A）		
	【目標等を踏まえた評価や改善方法】		【評価等に対する意見】		【次年度における取組等】		
令和3年度		精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議は、コロナ感染症の感染拡大により2回中止、一部Web開催となったが開催できた。今後は、保健、医療、福祉関係に関する事業者と行政機関の情報共有や連携を図り、地域課題の抽出のを行い、課題を基に地域づくりの検討を図る。		関係機関との連携が進むことについては評価できる。長期入院からの地域移行には対応した受け皿が必要であり、事業所等の体制整備を推進してもらいたい。 関係機関との連携が必須だが、地域資源の充実も必要となる。 協議の場の会議体について、現状は保健・医療・福祉関係者による会議体となっているが、当事者やその家族、一般の市民も加わった会議体にしてほしい。		令和4年度においても毎月、関係機関による会議を実施していく。 また、第6期障害福祉計画の目標には定めていないが、令和4年度より地域の精神障害者に対するアウトリーチ支援事業を開始し、未治療や医療中断等のため地域社会での生活に困難を来している精神障害者の支援を行い、精神障害者の社会的自立や地域定着を図る。	
令和4年度							
令和5年度							

第 6 期障害福祉計画 目標等管理シート

成果目標		3 地域生活支援拠点等の整備									
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	【令和5年度末までの目標】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> <tr> <td>優先度の高い機能から段階的に整備を進める。</td> <td>これまでの地域生活支援拠点プロジェクトからの「地域生活支援拠点に求める機能」の提案を基本として、地域支援協議会と連携し、市内に不足している障害者施設の規模や機能等を踏まえ、令和3年度中に市有地の活用等を前提として、具体的な取りまとめを行う中で、面的な整備の取組を進め、令和5年度中には、基幹相談支援センターを含めた全体的な整備の方向性を決定する。</td> </tr> </table>			目標値	目標値設定の考え方	優先度の高い機能から段階的に整備を進める。	これまでの地域生活支援拠点プロジェクトからの「地域生活支援拠点に求める機能」の提案を基本として、地域支援協議会と連携し、市内に不足している障害者施設の規模や機能等を踏まえ、令和3年度中に市有地の活用等を前提として、具体的な取りまとめを行う中で、面的な整備の取組を進め、令和5年度中には、基幹相談支援センターを含めた全体的な整備の方向性を決定する。			
	目標値	目標値設定の考え方									
	優先度の高い機能から段階的に整備を進める。	これまでの地域生活支援拠点プロジェクトからの「地域生活支援拠点に求める機能」の提案を基本として、地域支援協議会と連携し、市内に不足している障害者施設の規模や機能等を踏まえ、令和3年度中に市有地の活用等を前提として、具体的な取りまとめを行う中で、面的な整備の取組を進め、令和5年度中には、基幹相談支援センターを含めた全体的な整備の方向性を決定する。									
	主な活動指標 (内 容)	【活動内容】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">年 度</th> <th>取 組 内 容</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td>障害者地域支援協議会において、昭島市における地域生活支援拠点等の面的整備に向けて集約された課題を踏まえて、大神町4丁目の市有地を活用しての地域生活支援拠点等の面的整備における1つの機能として整備することについて検討を進めた。また、不足している障害者福祉施設の整備についても検討を進めた。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td></td> </tr> </table>			年 度	取 組 内 容	令和3年度	障害者地域支援協議会において、昭島市における地域生活支援拠点等の面的整備に向けて集約された課題を踏まえて、大神町4丁目の市有地を活用しての地域生活支援拠点等の面的整備における1つの機能として整備することについて検討を進めた。また、不足している障害者福祉施設の整備についても検討を進めた。	令和4年度		令和5年度
年 度	取 組 内 容										
令和3年度	障害者地域支援協議会において、昭島市における地域生活支援拠点等の面的整備に向けて集約された課題を踏まえて、大神町4丁目の市有地を活用しての地域生活支援拠点等の面的整備における1つの機能として整備することについて検討を進めた。また、不足している障害者福祉施設の整備についても検討を進めた。										
令和4年度											
令和5年度											
区 分	評価 (C)	協議会等意見	改善 (A)								
	【目標等を踏まえた評価や改善方法】	【評価等に対する意見】	【次年度における取組等】								
令和3年度	大神町4丁目の市有地の施設整備の可否について地域支援協議会にて具体的に検討し、地域課題があるが、面的整備の一つとしての整備する方向性で理解を頂いた。 今後、協議会での検討内容を踏まえ、関係機関と整備について検討を図る。基幹相談支援センターの設置について、引き続き具体的な検討を進める。	面的整備という一定の方向性が示されたことは評価したい。面的整備には多くの関係機関を調整する機能が重要であり、市の方向性や手腕に期待している。 生活や訓練の場だけでなく、就労も視野に入れ、各関係機関（地域活動支援センター、相談事業所、就労支援センター、移行支援事業所等）が連携を密に取れる方向でお願いしたい。	大神町4丁目の市有地を活用した施設整備について検討頂いた結果を踏まえ、面的整備に向けて整備計画を検討する。基幹相談支援センターの設置の時期等を含め、具体的に庁内関係機関と協議し、検討を進める。								
令和4年度											
令和5年度											

第6期障害福祉計画 目標等管理シート

基本指針の目標		4 福祉施設から一般就労への移行等				
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	【令和5年度末までの目標】				
		①就労移行支援事業所等を通じて、令和5年度に一般就労に移行する者の数				
		区 分		目標値	目標値設定の考え方	
		年間一般就労移行者数		8人 (1.6倍)	福祉施設を退所して一般就労する人数	
		移行支援事業による年間一般就労移行者数		7人 (1.4倍)	移行支援事業により、一般就労した人数	
		就労継続支援B型事業による年間一般就労移行者数		1人 (一倍)	平成27年度から令和元年度までの5年間において2人であることを考慮し、令和5年度に1人が一般就労する者の数として設定	
		②就労定着支援事業の利用者数				
		区 分		目標値	目標値設定の考え方	
		就労定着支援事業の利用者数		70%	就労移行支援事業により一般就労に移行する者のうち、就労定着支援事業を利用する者が7割になることを目指す。	
		【実績値】				
区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
年間一般就労する人数		8人	人	人		
移行支援事業による年間一般就労移行者数		8人	人	人		
就労継続支援B型事業による年間一般就労移行者数		0人	人	人		
就労移行支援事業により一般就労に移行する者のうち、就労定着支援事業の利用者数		利用人数	3人	人	人	
		利用率	38%	%	%	
区 分		評価 (C)	協議会等意見		改善 (A)	
		【目標等を踏まえた評価や改善方法】	【評価等に対する意見】		【次年度における取組等】	
令和3年度		事業所の取組により一般就労へ8人が移行し、そのうち3人が就労定着支援事業を利用している。今後、地域支援協議会の就労支援部会とも連携を図る中で、一般就労者の増加及び定着につなげていきたい。	市内の就労移行支援事業所が減少しており、事業者の努力だけでは安定した就労者の輩出は望めない。就労支援部会の活性化に市が協力してもらいたい。 就労定着支援について、3年後の支援もあると良い。就労支援センターに情報提供等があれば、より長期の定着が可能。 一般就労の増加及び定着について、具体的にどうするのか、連携だけでは少し弱い。		各事業所において引き続き取組を継続し、市においても障害者雇用の取組を進めるとともに、障害者地域支援協議会や障害者就労支援センターと連携を図り、一般就労の増加を進めていく。 令和4年度においては昭島市商工会に対し、障害者雇用に関するチラシ等配布による周知を行う。	
令和4年度						
令和5年度						

第 6 期障害福祉計画 目標等管理シート

成果目標		5 相談支援体制の充実・強化等																							
計 画 (P) ↓ 実 施 (D)	目標値	【令和5年度末までの目標】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検討</td> <td colspan="3"> 地域支援協議会相談支援部会及び市内3か所の委託している相談事業所との連携を強化し、未設置である基幹相談支援センターの設置の検討をする中で相談支援体制の充実と強化を図る。 </td> </tr> </table>				目標値	目標値設定の考え方			検討	地域支援協議会相談支援部会及び市内3か所の委託している相談事業所との連携を強化し、未設置である基幹相談支援センターの設置の検討をする中で相談支援体制の充実と強化を図る。														
	目標値	目標値設定の考え方																							
	検討	地域支援協議会相談支援部会及び市内3か所の委託している相談事業所との連携を強化し、未設置である基幹相談支援センターの設置の検討をする中で相談支援体制の充実と強化を図る。																							
	主な活動指標(内容)	【活動指標等の一覧】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">令和3年度</th> <th style="width: 15%;">令和4年度</th> <th style="width: 20%;">令和5年度</th> </tr> <tr> <td>総合的・専門的な相談支援の実施見込み</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> </tr> <tr> <td>相談支援事業者に対する専門的な指導・助言件数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>相談支援事業者の人材育成の支援件数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>相談機関との連携強化の取組実施回数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	総合的・専門的な相談支援の実施見込み	検討	検討	検討	相談支援事業者に対する専門的な指導・助言件数				相談支援事業者の人材育成の支援件数				相談機関との連携強化の取組実施回数			
	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度																					
総合的・専門的な相談支援の実施見込み	検討	検討	検討																						
相談支援事業者に対する専門的な指導・助言件数																									
相談支援事業者の人材育成の支援件数																									
相談機関との連携強化の取組実施回数																									
区 分	評価 (C)	協議会等意見		改善 (A)																					
	【目標等を踏まえた評価や改善方法】	【評価等に対する意見】		【次年度における取組等】																					
令和3年度	相談支援体制の強化のため、相談支援部会において事例検討や地域課題を抽出し課題解決に向けた具体策の検討を図る。障害者地域支援協議会において、昭島市における生活拠点等整備に一環として、基幹相談支援センターの設置について協議し、引き続き具体的な検討を進める。	基幹相談支援センターの設置・機能の充実が成果目標の完成であり、市には具体的な整備を期待する。 就労支援センター利用者の情報共有・連携強化をお願いしたい。就労支援センターには企業からの求人相談があるものの、紹介可能な人材がおらず、機会損失に繋がっている。		地域の相談支援体制の強化のため相談機関の拠点となる基幹相談支援センターの設置について、引き続き協議を行い、設置の時期等を含めた具体的な検討を進める。																					
令和4年度																									
令和5年度																									

第 6 期障害福祉計画 目標等管理シート

成果目標		6 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築				
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	【令和5年度末までの目標】				
		目標値	目標値設定の考え方			
	実施体制の構築	東京都や心身障害者福祉センター等が実施する研修を積極的に活用し、職員の知識の理解や修得を図る。毎月の国民健康保険団体連合会からの審査結果の情報共有に努める。また、利用者からの評価等の活用についても検討する。				
	主な活動指標 (内 容)	【活動指標等の一覧】				
		区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		各種研修への市職員参加人数	見込量	5人	5人	5人
			実績値	7人		
障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果の共有回数		見込量	1回	1回	1回	
	実績値	1回				
区 分	評価（C）		協議会等意見		改善（A）	
	【目標等を踏まえた評価や改善方法】		【評価等に対する意見】		【次年度における取組等】	
令和3年度	東京都及び心身障害者福祉センターの実施するケースワーカーの専門研修や保健師の専門研修に参加し、知識の習得を図った。また、市内の放課後デイサービス事業所に対して国民健康保険団体連合会からの審査の注意点等の情報共有を図った。		各種研修が活用されていることは評価したい。 日常的に研修するシステムが必要であり、有料オンライン形式のものは質の良い研修であるが、金銭面で市からの補助があると良い。 市内の放課後等デイサービス事業所による情報共有や意見交換の場が必要。		コロナ禍において集合形式の研修は縮小しているものの、オンライン研修が行われているため、東京都等が実施するケースワーカーや保健師向けの専門研修については今後も引き続き参加し、さらなる知識・技術の習得に努める。	
令和4年度						
令和5年度						

基本指針の目標		1 障害児支援の提供体制の整備等		
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	【令和5年度末までの目標】		
		①児童発達支援センターの設置及び保育所等訪問支援の体制整備		
		目標値	目標値設定の考え方	
		設置	令和元年度に児童発達支援センターである子ども発達プラザホエールを設置している。	
		設置	保育所等訪問支援事業については、令和2年度より子ども発達プラザホエールで事業を実施している。	
	主な活動指標 (内 容)	②重症心身障害児の支援体制の整備		
		目標値	目標値設定の考え方	
		1か所以上の設置	令和元年度末において、重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所が1か所確保されていることを踏まえ、当該事業所と連携し取組を進める。また、新たな事業所の確保について検討を行う。	
		③医療的ケア児支援のための関係機関等の協議の場の設置		
		目標値	目標値設定の考え方	
		協議の場の設置とともに医療的ケア児等のコーディネーターの配置を検討	令和5年度末までに、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図るための協議の場を設けるとともに医療的ケア児等コーディネーターの配置について検討を行う。	
		【活動内容】		
		年度	取 組 内 容	
		令和3年度	「子ども発達プラザホエール(児童発達支援センター)」として開設し、保育所等訪問支援事業を「子ども発達プラザ ホエール」の1か所で実施している。また、重症心身障害児の支援体制として放課後デイサービス及び児童発達支援事業所1か所と引き続き連携を図っている。	
		令和4年度		
		令和5年度		
区 分	評価 (C)	協議会等意見		改善 (A)
	【目標等を踏まえた評価や改善方法】	【評価等に対する意見】		【次年度における取組等】
令和3年度	昭島市児童発達支援センターを開設し、保育所等訪問支援事業及び重症心身障害児の支援について各1か所設置している。重症心身障害児の新たな事業所の確保について引き続き検討し、医療的ケア児支援の関係機関等との協議の場の設置については、具体的な検討までは至らなかった。今後は、設置に向けての具体的な検討を庁内にて進めていく。	将来の就労を希望する保護者に対し、就労支援センターや相談支援センターの周知があると良い。 市内事業所と市との連携について、会議の場の設定を以前から要望している。また、医療的ケア児の支援についても早急に関係者会議の設置が必要。 重症心身障害児の支援体制確保について、現在1か所のみであり、市との情報共有が必須となる。		医療的ケア児の協議の場の設置に向け、庁内部署及び医療機関との連携体制について具体的に検討を進め、取り組んでいく。重症心身障害児の支援体制整備に向けては、1か所以上の設置に向け、事業所と連携して具体的な話し合いの場を設け、検討を進める。
令和4年度				
令和5年度				